

目指せ、新剣師範！

三里塚小学校
新聞剣道クラブ

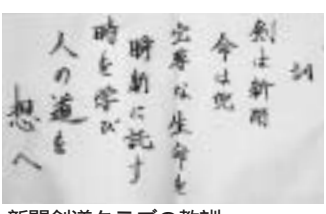
ぼくたちは、ことしから新しくできた「新聞剣道クラブ」の5人です。活動は月2回、水曜日の六校時に行っています。

顧問は、このクラブの生みの親、安西大輔先生と小泉豊子先生。安西先生は、ぼくたちが一瞬の大切さを感じ、真剣に取り組めるができればと、このクラブを思い付いたそうです。



まずは素振りから

きょうは雨が降っているため、グリーン広場(校舎と体育館の間)のスペースから、算数ルームに場所が変わりました。いつもより狭いのでみんな動きずらいそうです。



新聞剣道クラブの教訓

まず、面の代わりとなるかぶとと竹刀を新聞紙で作ります。素振りの練習です。そして、総当たりのリーグ戦を行います。けがをしないようコーゲルを着け、メンだけ(ドウヤコテは無し)で対



手作り竹刀で剣豪に变身



どっちのメンが先に入る?

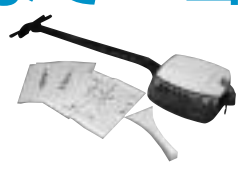
戦します。ほとんどの試合は、先生の「はじめ」の合図と同時に、一瞬で勝負がついてしまいました。対戦が終わると、その日の成績によって、先生から新聞剣道の段位が与えられます。きょうの結果は、剣道の経験がある優勝候補、渡部(わたべ)さんを破る金星を挙げた川村君が優勝し、師範を与えられました。次はだれが師範になるのか、クラブ活動の日が待ち遠しいです。



なかまと一緒に(26)

みんなで「ヨー、イツ」

長唄同好会 貴成会



わたしたちは、毎週木曜日に公津公民館で、土肥のりこ先生の指導で、長唄三味線を習っています。今はやりの民謡三味線(津軽など)とは違い、歌舞伎を題材とした唄につき三味線です。もっと身近に邦楽を楽しみたいとサークルを立ち上げたのが5年前。おどろ花見で弾くため、子どもたちに習っていた

のでもう一度習いたい、長唄教室がとてもしつこくやってみようなど、入会のきっかけはさまざまです。メンバーは皆気さくで気楽にできるのが何よりです。



和を奏でる

練習は、個人差があるので、それぞれにわたしたちにとって三味線は、日本の音のふるさとを感じさせてくれる魅力あるものです。

お弾き初めを開き、練習の成果を発表しています。



心引かれる音楽です

の人のレベルに合わせた対面けいこが中心ですが、楽譜を取り寄せ、易しい合奏の練習をすることも。音符を覚えるいい勉強になります。バチの角度を一定にしないと音が安定しません。音が安定するまでには少し時間が掛かりますが、繰り返し練習をして、ぴたりと音がついてくるようになります。毎年お正月に

サーカスもやって来た ちようちん祭り



仲山美智子さん(船形)



わたしのふるさは福島県二本松市です。郡山市と福島市の中間にある城下町で、霞ヶ城公園で行われる菊人形展とちようちん祭りが有名です。特に、毎年10月4〜6日に行われるちようちん祭りは、日本三大提灯祭りの一つに数えられています。初日の4日夜、七つの町内の太鼓台(約3000個のちようちんを付けた山車)が麓谷の急な坂を並んで下りてくる様は本当にきれいでした。わたしの小さいころは、サーカスもやって来ましたが、子どもたちにはとても楽しみな祭りでした。



霞ヶ城の石垣の前で

玉を入れて面白かったですね。映画もよく見に行きました。ただ、これにはちよつとした訳が。当時市内には映画館が2軒あり、うちにボスターを張りくるのですが、そのときに、ただ券を置いていってくださった。もちろん友達には内緒でした。

縁あって30年前に船形へ。こちらの「父」とは一緒に農業をすることになりました。なにしろ田んぼの仕事は初めて。でも、かえって新鮮で楽しく感じました。それから、みその作り方、カツオのおろし方、草もちの作り方と何から何まで教えてくれて。考えてみると、二人の父からたくさんのお話を教わりました。今では、すべてがわたしの大切な財産だと思っています。



今回のトークは庭のログハウスで

ふるさとトーク(95) 福島県二本松市

ひろば



飯田涼介ちゃん(加良部)

こんにちは
赤ちゃん 83



石黒友ちゃん(橋賀台)

スクスク
のびのび 285

まさや
梅澤理也くん(5歳) 橋賀台
わか
和夏ちゃん(2歳)

幼稚園では、ジャングルジムで遊んだりお絵かきをしたりしているよ。幼稚園から帰ると二人で自転車に乗るんだ。けんかもするけど、やっぱり一緒にいいな。



ペット大好き 65



高橋正巳さん(加良部)
タバサ(メス)

タバサは車に乗って出掛けるのが大好きです。時には市外の公園へ散歩に行くことも。散歩中にフンをして、必ず持ち帰って処分しています。飼い主のマナーですよ。